

貴志南っ子

3月 平成29年3月1日

「上から目線」

12月末に全児童と全保護者の方に「学校評価のためのアンケート」を書いていただきました。その結果等をもとに、本校の学校関係者評価委員さん（本校は育友会の役員さんの1部）がコメントを書いて下さり、今それを今年度の総括の一つとしてまとめているところです。そのコメントの中で非常にうれしいものがあつたので紹介します。

多様な友達を特別視せずには受け入れるこの学校の子どもたちはとてもステキだと思う。

まさに、私たち教職員がこんな子どもたちに育ってほしいと願っていることに対する評価であり、心底うれしく感じました。どの子も分け隔てなく学校生活を送ることができるように学校のユニバーサルデザイン化を進めてきた成果が出ていることがうれしかったのです。

もちろん、ご家庭でもきっと子どもたちに何が大切なのかを言い聞かせてくれていることの現れでもあります。子どもだからといって、上から目線で感情をぶつけても逆効果で、同じ目線の高さになることが肝心だとよく言われます。そんな大人の姿勢が、子どもの「同じ友達、同じ仲間」の意識につながっていきます。

.....

わたしと小鳥と鈴と

わたしが両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥はわたしのよう、地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴はわたしのよう、たくさんうたは知らないよ。

鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

.....

有名な金子みすゞさんの詩です。



この3月で貴志南小学校を巣立つ6年生、4月には、入学してくる新1年生、新しい学年に進む子どもたち。やがて新しい友達や仲間と出会うことになります。「わたし」であれ「小鳥」であれ「鈴」であっても、同じ目線の高さで接し、すてきな関係を築いてくれることでしょう。



★貴志南小学校では、ホームページを設けています。

<http://www9.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。

※上記の「学校評価」に関する情報も3月中旬にはホームページに掲載する予定です。